

アンケート調査の発表：外国語教育について

中央大学 日本語 D クラス
マット・ベル
マイケル・キャバリア

皆さんこんにちは。私はマイケル・キャバリアです。こちらはマット・ベルです。今日は、私達のアンケート調査の結果について説明したいと思います。よろしくお願ひします。このアンケートの目的は、留学生と日本人の学生が学校で習った言語が役に立ったことがあるかどうかを知ることです。それだけではなくて日本にくる前に私達の日本人の先生達の話では日本の外国語教育制度は、特に英語教育制度はよくないそうです。これで英語を勉強している日本人はあまり役に立たないというのは本当かどうか知りたかったからです。私達の予想は、確かに日本に留学している学生には日本語の授業は毎日役に立っていますが、日本人は長い時間、英語や他の言語を勉強しても本当に役に立っていないのではないかと思います。以上が、このアンケートを行う理由です。私達は12月の中旬に、中央大学と多摩平の国際寮で、日本人40人と留学生20人にアンケートをしました。男女の内訳はグラフ1の通りです。

これから、その結果についてご説明します。

マットお願ひします。

グラフ2を見てください。まず、私達は今までどんな外国語を勉強したのか、そして、どのくらいの時間それを勉強したのかを聞きました。日本人は英語が一番多かったです。私達の予想では、短い時間しか勉強していなかったら、その勉強している言語で話すのは恥ずかしいと思うのではないかと思います。その上、ネイティブと話す時間や機会があまりなかったら、その国に行って話すのは全然慣れていないので、特に恥ずかしいのではないかと思います。しかし、グラフ4から分かるように、それは関係がないようでした。日本人は8年も英語を勉強しています。どの言語でも、どのくらいの勉強時間でも関係ありませんでした。アンケートに答えた留学生の中で一番多く勉強されている言語は日本語です。どのくらいの時間勉強したかという質問に対する留学生の答えはグラフ6から分かるように様々でした。グラフ7から留学生の日本語の勉強期間の平均は二年間でした。

マイクお願ひします。

グラフ13を見てください。やはり、グラフ7と13によると、二年間より短くても日本語を勉強したことが役に立ったと言っています。留学生は恥ずかしく思わずに頑張っているようです。日本人の答えはちょっと違いました。日本人は学校で英語を勉強する必要がありますから、誰でももちろん外国語を勉強したことがありますが、「役に立ったことがない」と言った人は30%だけいました。驚いたことに、この結果は私達の予測と全然違いました。私達が思ったよりこの結果は少なかったです。アンケートした人々が言ったように役に立ったこと

があっても習った言語で話す時には上手に全然話せられないとっていて習ったことにあまり満足していないと言っていました。授業で何を勉強したかなとて私達のアンケートを続けました。

マツトお願いします。

私達の次の質問は授業で何を主に勉強したかと、外国語を勉強する時に何が一番難しいと思うかでした。グラフ8を見てください。日本人の中で最も多かった答えは、やはり「文法」でした。文法と答えた人は40人のうち、60%以上いました。それから、グラフ9を見たら、外国語の勉強の一番難しいところは「ネイティブと話す機会が全然ないこと」と答えた人は40人中、50%以上でした。留学生も、授業で主に勉強したもので最も多かった答えは「文法」でした。そう答えた人は、留学生全体の70%を占めました。留学生の中で、勉強の一番難しいところは「会話練習」だと答えた人は、20人全員で、100%でした。この理由は様々でした。日本人と留学生にとって、会話練習をする時に、うまく言葉が思い出せなかったり、ネイティブの話し方が分かりにくくてコミュニケーションが取れない、などの答えがありました。その上様々な表現や言葉なども時々翻訳しにくくて話す時には言いたいことが説明出来ないのていらいらすると答えた人もいました。

マイクお願いします。

私達の最後の質問は、外国語の授業の教え方で、一つ変えたとしたら、何を変えた方がいいと思うかでした。グラフ10と11を見てください。日本人と留学生はどちらも「もっと話すことを勉強したい」と答えた人は60人全員で、100%でした。私達の意見では、この理由は日本人は長い時間勉強しても授業で文法ばかり勉強していますから、会話の機会があっても、うまく話せないからだと思いました。留学生の場合は、勉強している外国語が簡単に話せなくて、特にその国に住んでいる場合、生活するのが難しいからだと思いました。

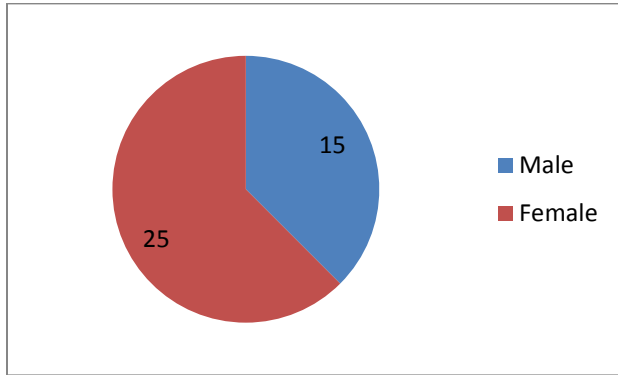
結論としては、アンケートに答えた人々は自国の外国語の教育制度に満足していないと思いました。その理由は様々です。一つは留学生と日本人は実際の生活であまり使わないことを主に勉強しているからです。ですからアンケートに答えた人は、外国語を勉強する時にほとんど文法ばかり勉強しているので、ネイティブと会って話す時にコミュニケーションがうまく取れなくて緊張して困るのです。その上、勉強している外国語の国に留学することにしてコミュニケーションが取れなかったら、生活することは特に難しいと思います。私達は日本の英語教育制度は特に悪いと思います。日本の英語の授業では、中学校に入ってから大学に入るまでに会話練習を全然勉強していないので、日本人の学生はネイティブと会話しようとする時、よく話せないので、話したくなくなってくると思います。留学生にも、これは当てはまっていると思います。

アンケートした留学生も日本語の授業で文法を主に勉強したので、話すのが苦手です。ですから、どの国でも外国語の教育制度を変えて、もう少し会話を取り入れた教育プログラムを作っていくべきだと思います。学校のプログラムか、学校外で外国語を積極的に使える場を作った方がいいと思います。確かにネイティブではない人と会話練習したら間違っているかどうか分からないのでいい練習にならないと思います。つまりネイティブと会話練習をした方がいいと思います。皆さんの大学には日本語の会話練習をしたがっている日本語を勉強している学生がいるはずですよ。ですから彼らと一緒に日本語の会話練習と検知の言葉の会話のためのサークル活動を作るとはさほど難しい事ではないように思います。外国人おかしなどの餌で釣ればもっと簡単になると思います。

これで私達の発表が終わりです。ご清聴^{せいちょう}ありがとうございました。

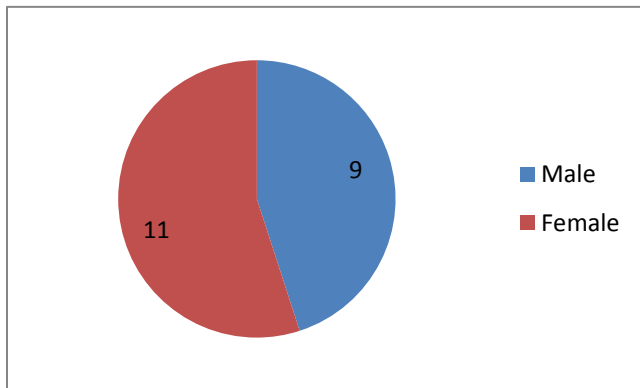
何かご質問はありましたら、お願いします。

グラフ 1



日本人40人

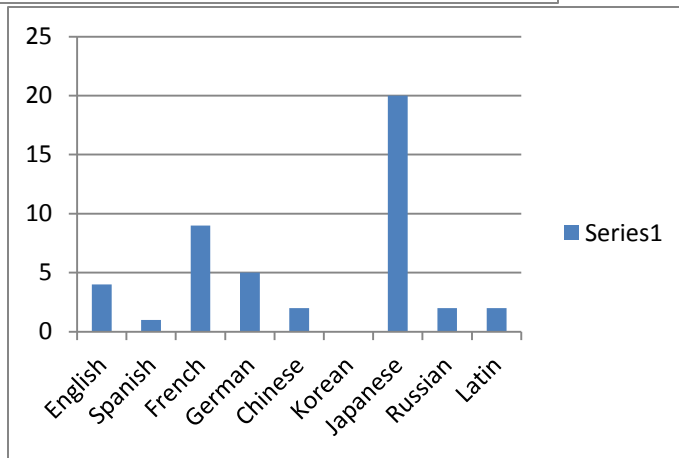
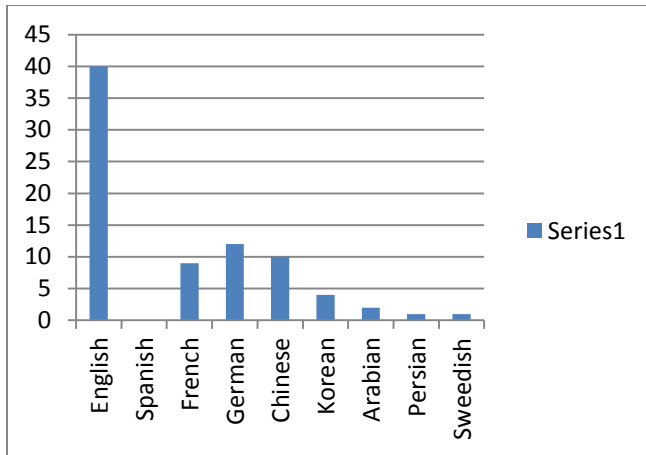
グラフ 2



留学生20人日本

グラフ 3

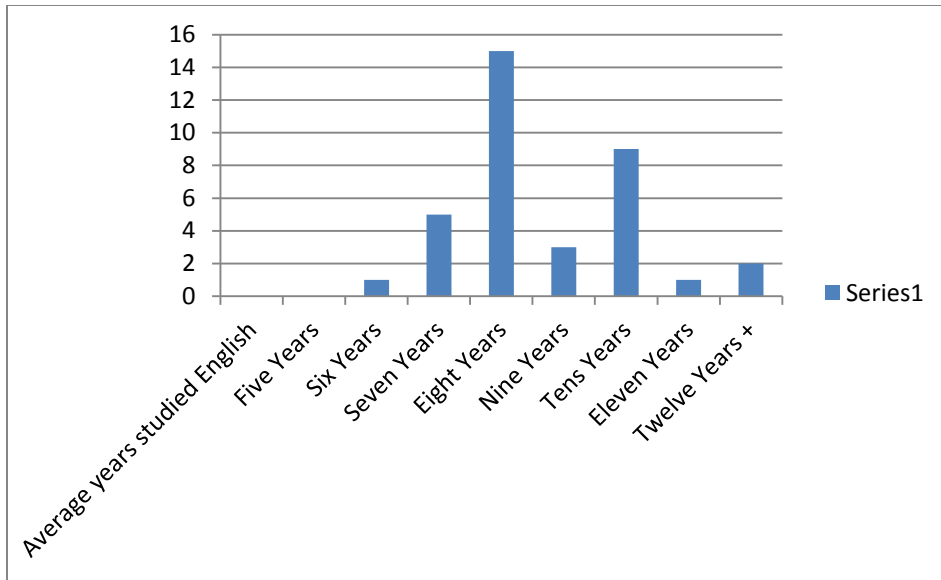
グラフ 4



留学生—勉強した言語

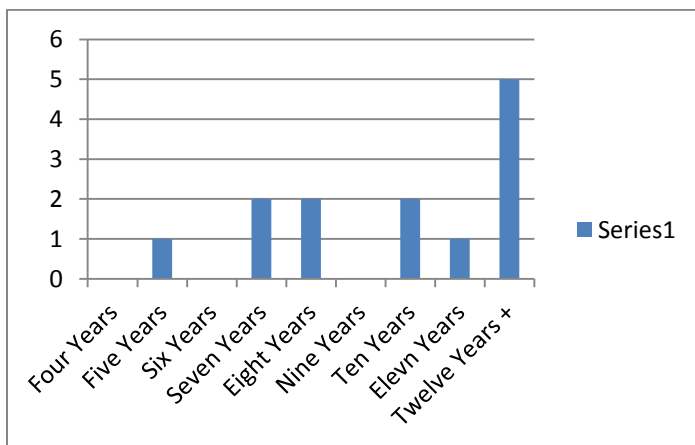
日本人—勉強した言語

グラフ 5, 6, 7

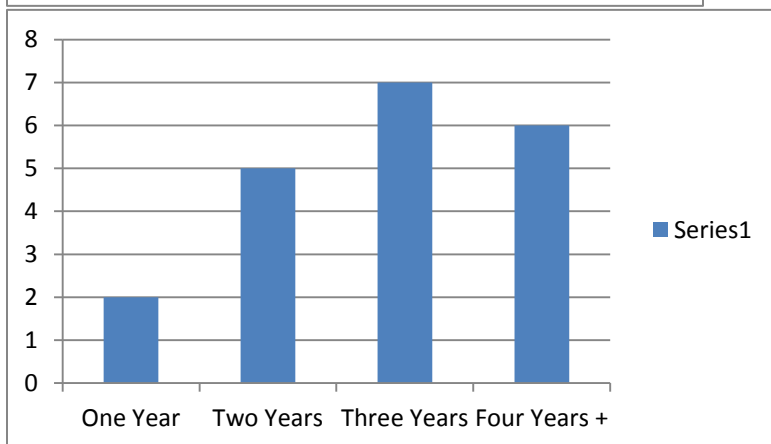


日本人—勉強平均

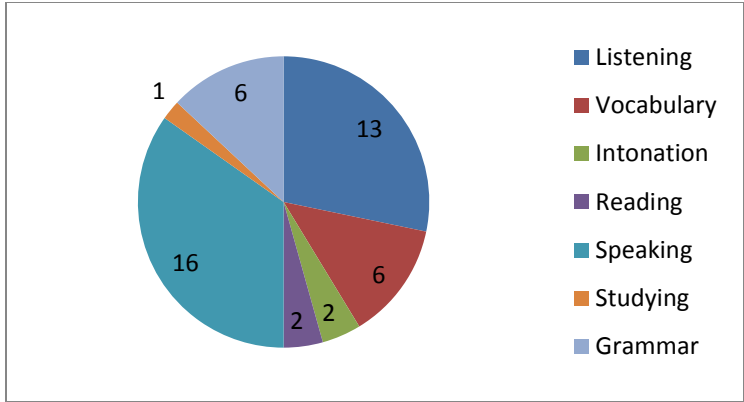
年



留学生—日本語の勉強平均年

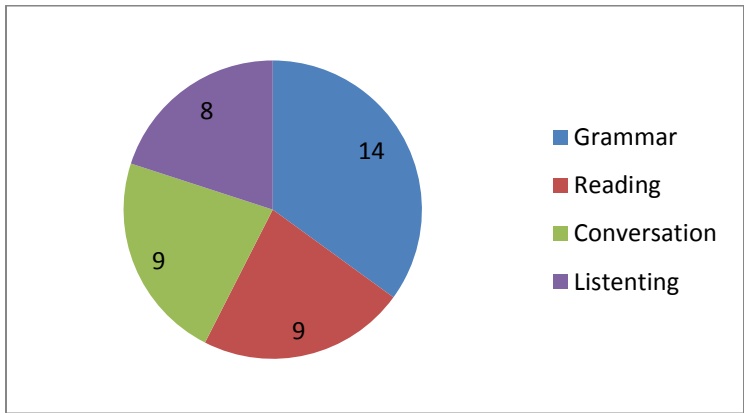


留学生—外国語の勉強平均年



日本人 一番難しい事

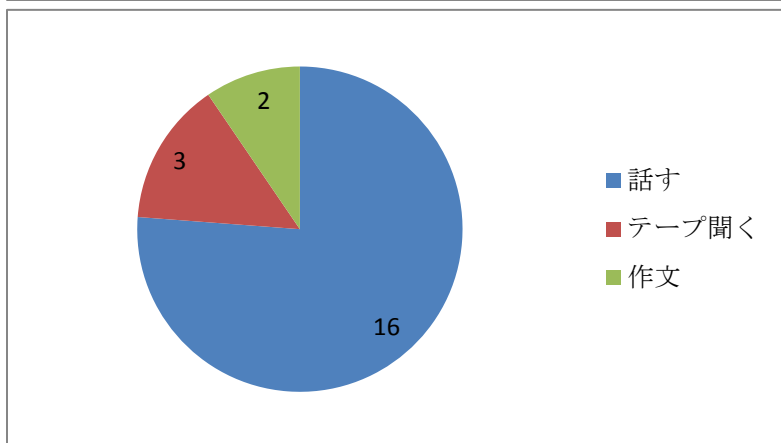
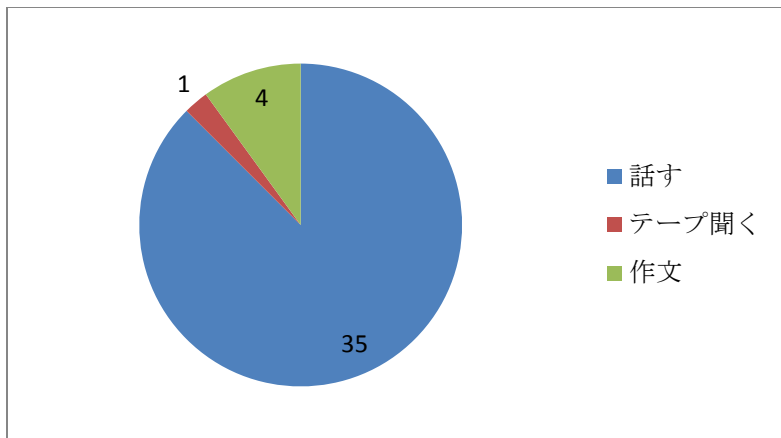
グラフ 9



留学生 一番難しい事

グラフ 10

グラフ 11

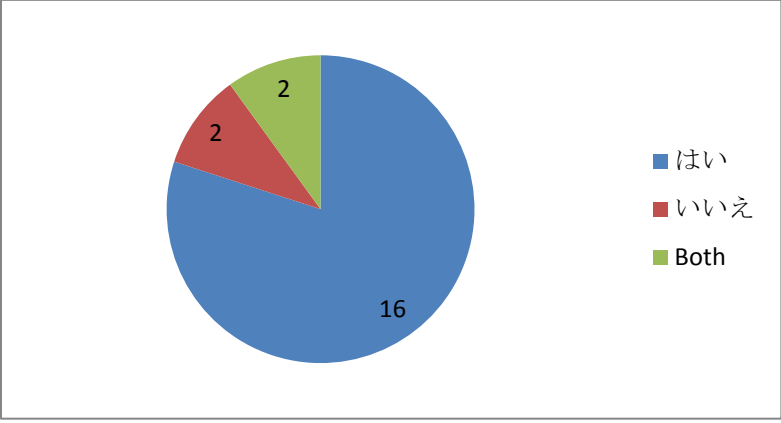
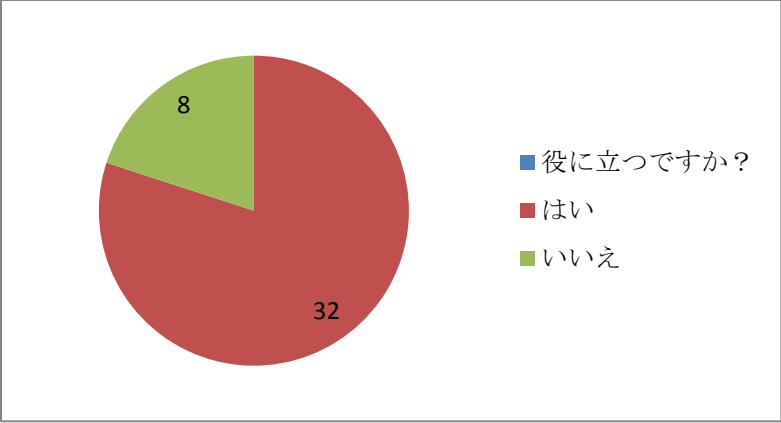


日本語—変わりたい事

グラフ 1 2

留学生—変わりたい事

グラフ 1 3



日本語—役に立つ?
つ?

留学生—役に立